



第4回 日進市道の駅整備検討委員会 資料

平成29年12月18日

【目次】

- 1. 第3回委員会の意見への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 基本計画（素案）の主な変更箇所一覧・・・・・・・・・・・・ 9
- 3. 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- （基本計画（素案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別冊）

1. 第3回委員会の意見への対応

(1)第3回 日進市道の駅整備検討委員会等の意見への対応

番号	回	項目	意見	意見への対応	対応状況 (済:○)
1	第3回	施設規模等	地域振興機能の大型車の駐車場は設置しないこととなっているが、9台という算定後に0台となっている。記載方法がわかりにくいいため、最初から0台と記載した方がいいのではないか。	事務局で検討した結果、算定経緯も重要であるため、9台の記載は残すこととする。わかりやすくするため、最終整理として駐車台数の表を記載することとしている。 →第4回委員会「資料4」P46～47 参照	○
2		管理運営手法	指定管理をどのように考えていくのか説明してほしい。	研究段階であるが、現在、事務局で検討している内容を資料に反映した。 →第4回委員会「資料3」P2、3 参照	○
3		管理運営手法	管理運営の部分で、「持続的に発展」という部分のイメージがわかりにくい。	「持続的に発展」を削除し、表現を見直し、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P94 参照	○
4		基本計画（素案）	サマリーを作成してほしい	別途、概要版を作成した。 →第4回委員会「資料3」P7～8 参照	○
5		基本計画（素案）	整備コンセプトが何度も記載されている。整理した方がいい。	第2章で記載し、他の章は除外した。 →第4回委員会「資料4」P11 参照	○
6		基本計画（素案）	地域課題は4項目だけではなく、大学連携などの項目もある。残された項目についても記載した方がいい。	「基本構想」で示した課題を追加し、資料に反映した。また、「整備コンセプト」を実現するイメージとして大学連携等も追加し、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P9、P20～21 参照	○
7		基本計画（素案）	利用者ニーズ調査等の資料は基本計画の内容ではない。どうしても入れたい場合は、参考資料とするのが一般的である。	利用者ニーズ調査として、アンケート結果資料そのものを基本計画に掲載しているわけではなく、概要のみ記載している。基本計画を作成するにあたり、読み手の助けになると考え記載している。 →第4回委員会「資料4」P22～27 参照	○
8		基本計画（素案）	第4章「その他施設」P66について、街路灯や看板などの必要な附属設備、耐震性貯水槽の詳細などが明記されていないので、抜け落ちがないか心配である。また、案内板やデザインに関して、もう少し範囲を大きく記載しておく必要がある	「耐震性貯水槽」「その他施設」の表現を見直し、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P71～72 参照 また、案内板やデザインに関しては、今後検討していくとして、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P72、100 参照	○
9		基本計画（素案）	ランドスケープという視点から、照明やデザイン等の部分も基本計画に入ってくると思う。また、周辺の歴史的な動きと施設の景観をどのようにリンクさせるかという考えも入ってくると思う。基本計画に方向性を書いておくことも大切である。細かく記載するのではなく箇条書き程度でも良いと思う。	今後予定している基本設計の段階で検討することとし、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P72、100 参照	○
10		基本計画（素案）	運用コスト、年間利用台数、年間利用者数、収支、採算性、財源措置の記載が欠けている	想定される年間利用者数を資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P98 参照 また、その他の項目は別途資料に反映した。 →第4回委員会「資料3」P6 参照	○
11		基本計画（素案）	基本計画に、数値目標や数値計画を入れてみてはどうか、提案である。	想定される年間利用者数を資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P98 参照	○
12		施設規模等	【愛知県との調整】（委員会とは別途調整事項） 休憩機能のトイレ規模は、中日本高速道路株式会社の設計要領ではなく、別途、中部地方整備局の考え方を示した「一般道路の休憩施設計画の手引き（案）」により算定することとなっているため、県と調整していただきたい。	「一般道路の休憩施設計画の手引き（案）」基準に基づき施設規模を見直し、資料に反映した。 →第4回委員会「資料4」P51～54参照	○

※委員会の中で回答している内容は、各委員会の議事録参照

1. 第3回委員会の意見への対応

(2) 指定管理について【研究段階資料】

※当資料は、事務局の研究段階の資料である。平成30年2月策定予定の基本計画の「第6章 整備・管理運営手法」の中で、運営手法等を指定管理、民間事業者と定めた後、本格的に具体的な検討に着手していく予定である。このため、**基本計画には記載する予定はない**（一般に、基本計画には記載しない）。

1) 日進市の指定管理の状況

- 施設毎に規模、内容は異なるが、「道の駅」を考えた場合には、20,000千円以上の指定管理料が必要になると思われる

日進市施設 指定管理の状況

番号	種別	にぎわい交流館	にしん子育て総合支援センター	スポーツセンター	上納池スポーツ公園	岩崎城歴史記念館、展望塔岩崎城、岩崎城址公園	市民会館	生涯学習プラザ	備考
1	指定管理期間	5年間 (H26.4月～H31.3月)	5年間 (H28.4月～H33.3月)	5年間 (H29.4月～H34.3月)	5年間 (H29.4月～H34.3月)	5年間 (H30.4月～H35.3月)	5年間 (H28.4月～H33.3月)	5年間 (H29.4月～H34.3月)	
2	指定管理料 (市委託料)	20,444千円 (H28年度実績)	22,020千円 (H28年度実績)	85,946千円 (H28年度実績)	19,367千円 (H28年度実績)	26,720千円 (H28年度実績)	111,764千円 (H28年度実績)	10,885千円 (H28年度実績)	
3	利用料金収入 (市収入)	1,010千円【指定管理者の収入0円】 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入617千円】 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入81,239千円】*1 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入18,880千円】*1 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入185千円】*1 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入58,811千円】*1 (H28年度実績)	0円【指定管理者の収入8,457千円】*1 (H28年度実績)	
4	施設利用者数	41,467人 (H28年度実績)	29,463人 (H28年度実績)	295,952人 (H28年度実績)	57,056人 (H28年度実績)	37,338人 (H28年度実績)	190,536人 (H28年度実績)	32,056人 (H28年度実績)	
5	指定管理者	コニックス株式会社	NPO法人ファミリーステーションRin	コナミスポーツ・エアワン共同事業	ハマダスポーツ企画株式会社	アクティオ株式会社	日進アシスト株式会社	日進アシスト株式会社	
6	a:敷地面積 b:建築面積	a:510.1㎡ b:519.1㎡(延床)	a:667㎡ b:234㎡(延床)	a:13,565㎡ b:8,978㎡(延床)	a:32,000㎡ b:1,180㎡(延床)	a:15,268㎡ b:833㎡(延床)	a:27,487㎡ b:7,290㎡(延床)	a:1,759㎡ b:627㎡(延床)	

*1 利用料金収入があるうち、市の収入には上がらないが、指定管理者の収入として利益が上がるもの

2) 「道の駅」の指定管理の状況

- 「道の駅」の指定管理の状況を調査すると、指定管理期間は10年以上としている箇所がある
- 指定管理期間が10年以上の場合、指定管理料が0円となっているケースが多いと思われる
- 指定管理料は、「道の駅」により様々である。公募型プロポーザル方式により、民間企業者からの提案で指定管理料を0円に、さらに納付金等（利用料金収入）の設定が可能なケースがある

道の駅 現在の指定管理の状況の例

番号	種別	道の駅 A	道の駅 B	道の駅 C	道の駅 D	道の駅 E	道の駅 F	道の駅 G	備考
1	指定管理期間	10年間	5年間	5年間	15年間	5年間	5年間	10年間	
2	指定管理料 (市委託料)	指定管理料 0円	指定管理料 9,541千円	指定管理料 16,792千円	指定管理料 0円 * 2	指定管理料 16,900千円	指定管理料 3,240千円 * 2	指定管理料 0円	
3	利用料金収入 (市収入)	あり	なし	なし	なし	なし	あり	あり	公募による民間事業者からの提案額等
4	a:敷地面積 b:建築面積	VI オ	I カ	IV カ	IV ア	I ア	II エ	II イ	
5	その他	公募型プロポーザル方式	非公募	公募型プロポーザル方式	公募型プロポーザル方式	非公募	公募型プロポーザル方式	公募型プロポーザル方式	

【区分】

施設規模	記号	建築面積	記号
～10,000m ² 未満	I	～500m ² 未満	ア
～15,000m ² 未満	II	～1,000m ² 未満	イ
～20,000m ² 未満	III	～1,500m ² 未満	ウ
～25,000m ² 未満	IV	～2,000m ² 未満	エ
～30,000m ² 未満	V	～2,500m ² 未満	オ
30,000m ² ～	VI	3,000m ² ～	カ

*1 上記表は精査中：HP等からわかる範囲で調査（今後、詳細精査必要）

*2 地域振興施設分のみ

1. 第3回委員会の意見への対応

(2) 指定管理について【研究段階資料】

※当資料は、事務局の研究段階の資料である。平成30年2月策定予定の基本計画の「第6章 整備・管理運営手法」の中で、運営手法等を指定管理、民間事業者と定めた後、本格的に具体的な検討に着手していく予定である。このため、**基本計画には記載する予定はない**（一般に、基本計画には記載しない）。

3) 指定管理予定者を設定している「道の駅」

- 最近では、予め、指定管理予定者を定めている「道の駅」がある

具体的なメリットの想定例

- ①開駅までの期間に、事業計画だけでなく、地元住民や地域団体との積極的な連携ができる
- ②計画段階（基本設計、詳細設計）から施設内容やデザインなどの検討に参画できる
- ③特に民間のノウハウで人を呼び込む仕掛け、維持管理費用を軽減するための仕掛けなどを設計に反映できる
- ④指定管理予定者を定め、上記③の提案を取り入れることで、指定管理料0円に加え、納付金等（収入）の提案の可能性も高いと考えられる
- ⑤指定管理予定者を定めておくことで、開駅までに集客できる仕組みを、指定管理予定者が予め、検討・実施（広報等）することができる
など

道の駅 指定管理予定者設定の例

番号	種別	道の駅 ①	道の駅 ②	道の駅 ③	道の駅 ④	備考
—	開駅(供用開始)	H30年度中 (予定)	H32年度中 (予定)	H32年度中 (予定)	H30年8月 (予定)	
1	指定管理期間	5年間	10年間	6年間	3年間	
2	指定管理料 (市委託料)	指定管理料 0円 (公益的施設の光熱水 費等を支出) ※当初は約1,000千円程 度を想定	指定管理料 0円 (施設内の収入で対応)	指定管理料 (年間10,000千円程度の 範囲内) → 0円で決定	指定管理予定者の申請提 案額を基本とし、その後協 議を行い、基本協定締結ま でに指定管理料を決定 (公益的施設の光熱水費等 を支出) → 0円で決定	
3	利用料金収入 (市収入)	提案等により あり	提案等により あり	提案等により あり	提案等により あり	
4	a:敷地面積 b:建築面積(延床)	IV ウ	IV カ	V エ	I イ	
5	その他	公募型プロポーザル 方式	公募型プロポーザル 方式	公募型プロポーザル 方式	公募型プロポーザル 方式	

【区分】

施設規模	記号	建築面積(延床)	記号
～10,000m2未満	I	～ 500m2未満	ア
～15,000m2未満	II	～1,000m2未満	イ
～20,000m2未満	III	～1,500m2未満	ウ
～25,000m2未満	IV	～2,000m2未満	エ
～30,000m2未満	V	～2,500m2未満	オ
30,000m2～	VI	3,000m2～	カ

* 上記表は精査中:HP等からわかる範囲で調査(今後、詳細精査必要)

1. 第3回委員会の意見への対応

※当資料は、愛知県との調整により、施設規模の一部を見直したものである。

(3) 導入施設の規模算定

トイレ施設（休憩機能）

1) 算定の考え方

- 「道の駅」の計画にあたっては、中部地方整備局の考え方を示した「一般道路の休憩施設計画の手引き（案）」によるものとする
- 休憩機能の駐車場施設の駐車ます数（99台：身障者分を除く）より、男子便所及び女子便所の器数、標準的な面積を算出
- 身障者用便所やオストメイト対応等の設備等については、個々の施設の規模等に応じて計画し別途計上する

① 男子便所及び女子便所

- 休憩機能の駐車場施設の駐車ます数(99台：身障者用を除く)に対応する標準的な面積を算出

【必要面積】 ※右記A「参表—5 公衆便所の規模」参照

50台の標準的な面積60㎡に対する99台の標準的な面積（比例配分）： $60\text{㎡} / 50\text{台} \times 99\text{台} = 118.8\text{㎡}$

② 身障者用便所（多機能トイレ）

- 男女のトイレ出入口の間に1ブース（1器）整備する
- 身障者及び介助者それぞれの性別に関係なく同時に入室でき、子ども連れの利用者等、健全者においても誰でも利用可能な多機能トイレとする

【必要面積】 ※右記B「表4—1 トイレ規模算出」参照

多機能トイレの単位面積： 10.8㎡

③ オストメイト対応設備

- 男子便所内及び女子便所内に1ブース（1器）ずつ、計2ブース（2器）整備する
※オストメイト対応ブースに設置される便器は、オストメイト対応器具の一部としての位置づけであるため、駐車ますから算定される便器数とは別途計上

【必要面積】 ※右記B「表4—1 トイレ規模算出」参照

オストメイトの単位面積： $9.2\text{㎡} \rightarrow 9.2\text{㎡} \times 2\text{ブース} = 18.4\text{㎡}$

2) 必要面積

- 休憩機能におけるトイレの規模は、①、②、③の合計の面積とする

① + ② + ③ = $118.8\text{㎡} + 10.8\text{㎡} + 18.4\text{㎡} = 148.0\text{㎡} = \text{約}150\text{㎡}$

→ **約150㎡**

トイレ面積と便器数の内訳

トイレ面積	男性			女性	身体障害者用 (多機能)	オストメイト		合計(器)
	小	大	計			男性	女性	
約150㎡	8	4	12	12	1	1	1	27

A ※「『道の駅』の計画にあたっては、中部地方整備局の考え方を示した以下の『一般道路の休憩施設計画の手引き（案）』によるものとする」と示されている

■ 一般道路の休憩施設計画の手引き（案）

5-3 公衆便所

休憩施設には、原則として公衆便所を設置するものとする。
また、公衆便所は、身体障害者用便所を併設したものでなければならない。

休憩施設における公衆便所は長距離走行を行う道路利用者にとって不可欠なものであり、またその快適さが休憩施設全体の快適性を決める上で大きな要因となるので、外観及び良好な内部空間に注意して設計する。

- 1) 休憩施設には公衆便所は不可欠であるが、市町村等が設置する施設と一体的に計画される場合で、市町村等の設置する施設に公衆便所が備わっている場合にはそれを利用できる。
- 2) 身体障害者用便所は、出入口に近い位置に設置するとともに、健全者でも使用可能な利用形態を考慮すること。また、オストメイト対応（人口肛門・人口膀胱等の造設者のための洗浄機能水栓付便器及び汚物流し等を備えたもの）の設置も検討するものとする。
- 3) 汚水排水は、周辺環境への影響に配慮し適切に処理するものとする。
- 4) 公衆便所を設置する場合の規模は、下記を参考に個々の施設の規模等に応じて計画する。

参表—5 公衆便所の規模

駐車ます数	便器数(個)			標準的な面積
	男(小)	男(大)	女	
約50台	4	2	6	60㎡

出典：道路設計要領設計編（国土交通省中部地方整備局道路部、2014年3月）

B

表4—1 トイレ規模算出

項目	記号	係数				
		サービスエリア		パーキングエリア		
		一般部都市部	観光部(注1)	ハウェイジョブ有	ハウェイジョブ無	
駐車ます数	P	(注2)				
車種構成率	S	小型	0.88	0.92	0.86	0.90
		バス	0.04	0.03	0.03	0.02
		トラック	0.08	0.05	0.11	0.08
駐車回転率	r	(注3)				
車種別駐車台数	Pa	P×S×r				
平均乗車人員	W	小型	2.2人		1.7人	
		バス	27人	24人	21人	20人
		トラック	1.1人			
トイレ利用率	u	0.76	0.72	0.74	0.71	
性別比率	Dm	男	0.54		0.59	
	Df	女	0.46		0.41	
ピーク率	Pm	男	2.1		2.6	
	Pf	女	2.8		3.7	
便器回転率	Cm	男	95人/h			
	Cf	女	40人/h			
洋式便器設置率	Wm	男	0.9			
	Wf	女	0.9			
便器数	(男・小) Vm1 (男・大) Vm2 (女) Vf	小便器利用率 0.8 大便器係数 0.75 Vm1=(男子便器利用人数)/Cm×0.8 Vm2=Vm1×0.75		小便器利用率 0.8 大便器係数 0.6 Vm1=(男子便器利用人数)/Cm×0.8 Vm2=Vm1×0.6		
洗面器回転率	Sm	男	360人/h			
	Sf	女	215人/h			
1人当り面積	(男・小) Um	男・小	3.0㎡			
	(男・大、女) Uf	男・大、女	5.4㎡			
	(男女大型) Us, Ulf	男女大型	8.8㎡			
	(子供) Uc	子供	6.1㎡			
	(オストメイト) Uo	オストメイト	9.2㎡			
	(バリア) Up	バリア	2.2㎡			
	(洗面) Us (多機能) Uh	洗面器 多機能	3.0㎡ 10.8㎡			

出典：設計要領第六集 建築施設編 第1編 休憩用建築施設（東・中・西日本高速道路株式会社、平成29年7月）

1. 第3回委員会の意見への対応

※当資料は、愛知県との調整により、施設規模の一部を見直したものである。

(4)導入施設の規模算定

【参考図】

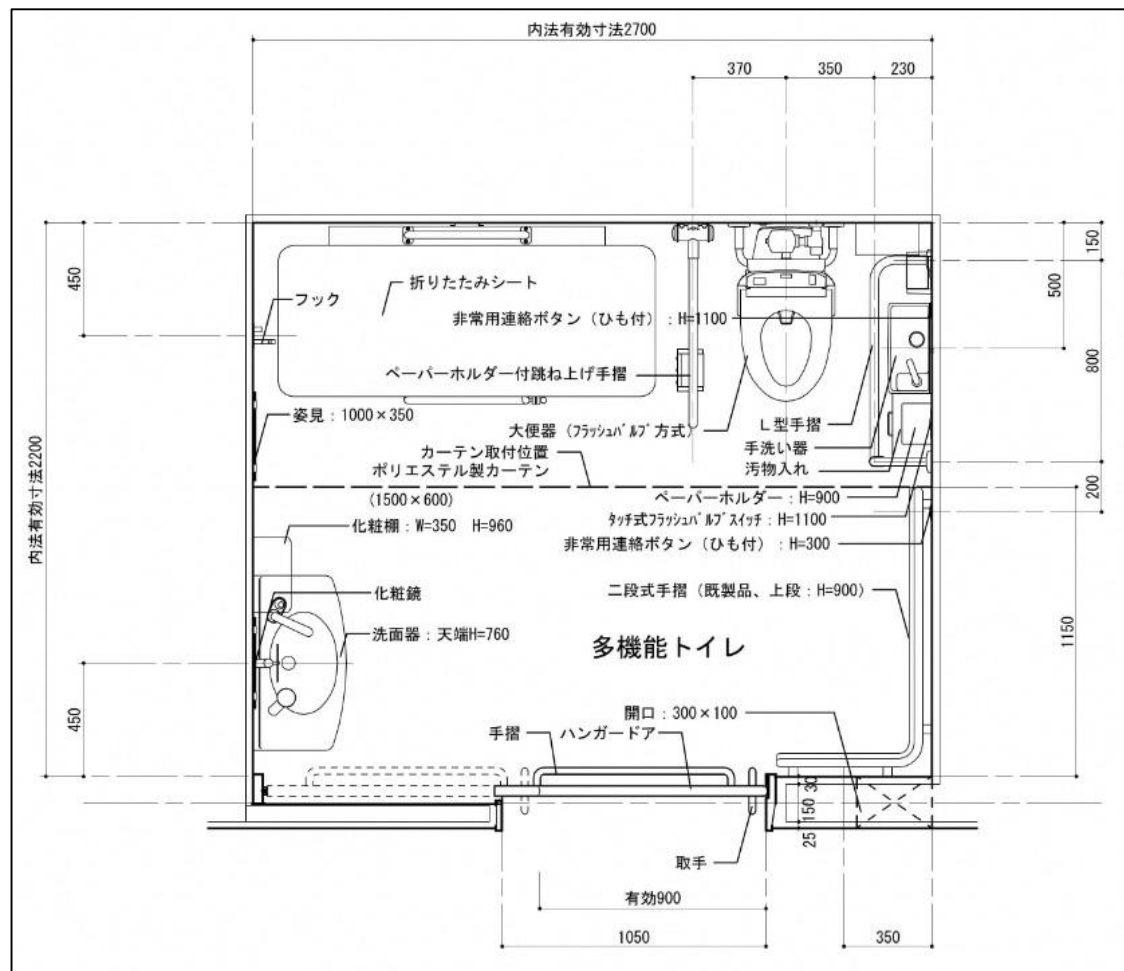
②身障者用便所（多機能トイレ）

【必要面積】

「設計要領第六集 建築施設編 第1編 休憩用建築施設（東・中・西日本高速道路株式会社、平成29年7月）」より
多機能トイレの単位面積：10.8㎡

【参考図】

※多機能トイレブースの参考図（2.7m×2.2m=5.94㎡）であり、これに通路やすれ違いスペース等を考慮した面積が必要となる（5.94㎡→10.8㎡）。



出典：建築工事標準図集（中日本高速道路株式会社、平成26年7月）
※「人にやさしい街づくり望ましい整備指針（愛知県、平成26年）」にも配慮する。

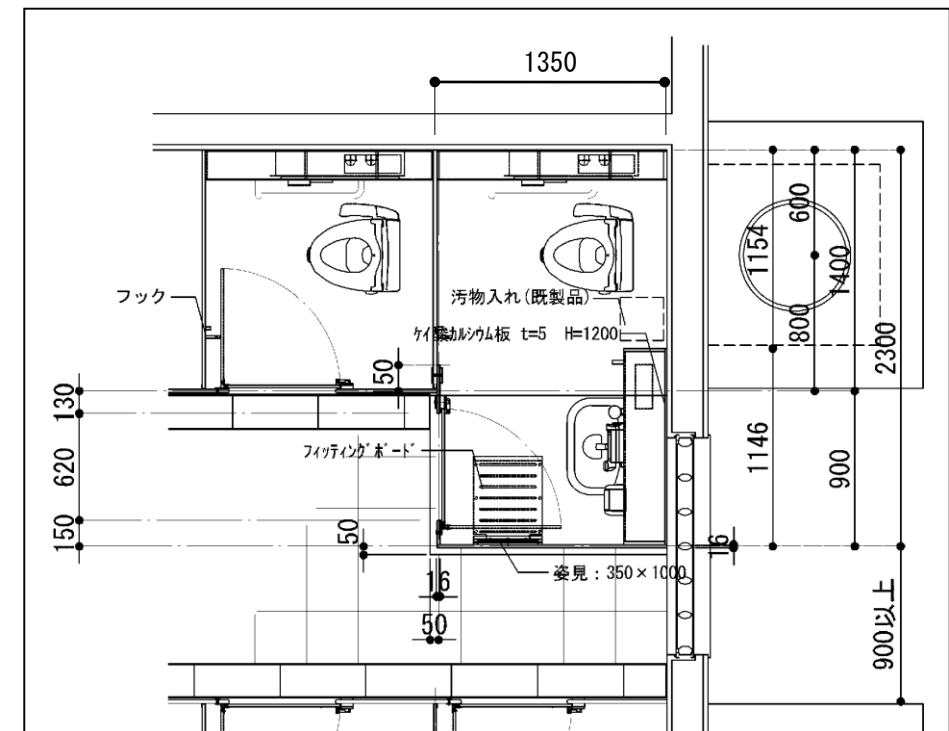
③オストメイト対応設備

【必要面積】

「設計要領第六集 建築施設編 第1編 休憩用建築施設（東・中・西日本高速道路株式会社、平成29年7月）」より
オストメイトの単位面積：9.2㎡ → 9.2㎡×2ブース=18.4㎡

【参考図】

※オストメイトブースの参考図（1.35m×2.3m=3.105㎡）であり、これに通路等を考慮した面積が必要となる（3.105㎡→9.2㎡）。



出典：建築工事標準図集（中日本高速道路株式会社、平成26年7月）
※「人にやさしい街づくり望ましい整備指針（愛知県、平成26年）」にも配慮する。

1. 第3回委員会の意見への対応

(5)想定される年間利用者数等

①想定される年間利用者数

- 愛知県内の「道の駅」について、交通量と利用者数の関係を整理すると、以下のグラフのような分布となる
- 日進市「道の駅」の利用者数は、分布図の傾向から推測すると、「年間約78万人」と想定される

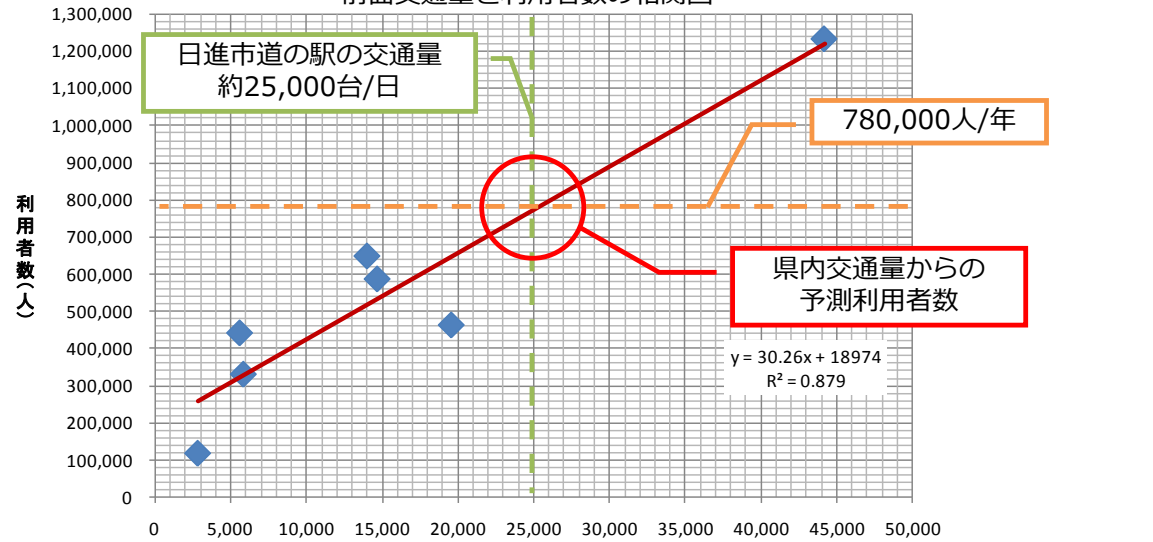
愛知県内「道の駅」利用者数

番号	駅名	登録年月	路線名	H27センサス 平日12時間 交通量(台/日)	利用者数(人)		備考
					平成27年	平成28年	
1	豊根グリーンポート宮嶋	H5.4	国道151号	1,054	—	—	
2	鳳来三河三石	H5.4	国道257号	3,440	—	—	
3	田原めつくんはうす	H5.4	国道259号	14,019	653,836	641,517	
4	伊良湖クリスタルポルト	H6.8	国道259号 国道42号	13,735 5,855	433,965	489,270	
5	つぐ高原グリーンパーク	H6.8	設楽根羽線	1,105	—	—	
6	どんぐりの里いなぶ	H10.4	国道153号	5,608	429,092	451,476	
7	アグリステーションなぐら	H11.8	国道257号	2,914	—	—	
8	デンパーク安城	H12.8	国道23号	59,935	82,627	89,670	※農産特産物販売有料公園と隣接しているため除く
9	つくで手作り村	H13.8	国道301号	2,835	113,262	117,920	
10	立田ふれあいの里	H17.8	佐屋多度線	15,412	—	—	
11	あかばねロコステーション	H21.3	国道42号	5,855	320,180	337,567	
12	筆柿の里・幸田	H21.3	国道23号岡崎バイパス 国道23号	26,370 8,558	340,597	204,682	※バイパスで片側車線からのみ直接アクセスとなるため除く
13	にしお岡ノ山	H21.7	国道23号	37,514	508,998	490,248	※バイパスで片側車線からのみ直接アクセスとなるため除く
14	瀬戸しなの	H22.8	国道248号 中水野品野線	12,446 2,248	566,900	604,700	
15	藤川宿	H24.9	国道1号	44,215	1,239,233	1,227,698	
16	もっくる新城	H26.10	国道151号	11,684	1,547,210	1,131,750	※H27オープン初年度で出入りが多いため除く

※上表より、特異値は除いている

出典：観光レクリエーション利用者統計（愛知県振興部観光局観光振興課、平成28年1月～12月）

前面交通量と利用者数の相関図



※利用者数は、平成27年と平成28年の平均値
2路線ある交通量は、合計値とした

- * 想定される年間利用者を示したもので、年間利用台数は算定していない
- * 想定される年間利用者数は、基本計画（素案）にも記載することとしている

②運用コスト等(運用コスト、収支、採算性)について

- 想定される年間利用者数は約78万人と想定したが、これは主要地方道瀬戸大府東海線の交通量から算定したものである
- 当「道の駅」では、子育て支援施設、公園、多目的施設などが配置され、様々な市民活動が行われることを想定しているため、市民活動の状況によって年間利用者数は大きく異なるものである
- 運用コスト等については、公募型プロポーザル方式の採用、指定管理予定者の採用、10年間以上の指定管理期間の採用などを行うことにより、大きく異なるものである
※研究段階資料の「指定管理について」p2、3参照

➡ 多くの市民が様々な活動を通じて道の駅を利用することで、収支、採算性が向上すると思われる

➡ 指定管理者制度の導入の検討にあわせ、維持管理費用の軽減に努めていく

- 財源措置については、今後検討していく予定である

1. 第3回委員会の意見への対応

(6)概要版

基本構想 (H29.2月)

1. 計画地の位置

計画地は、日進市のほぼ中央に位置する尾三消防本部日進消防署より、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ西側付近(本郷町前田周辺)で、現況の土地利用は農地である



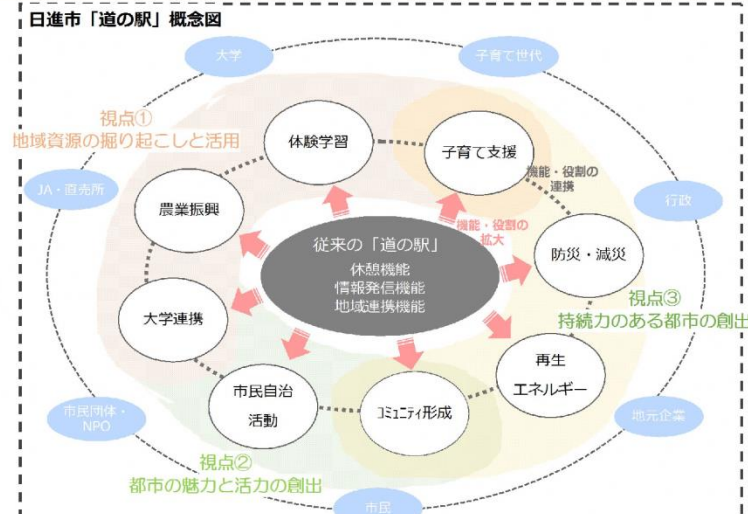
出典：国土地理院 地理院地図 0 150 300 600 900 1200メートル 1:10,000

2. 「道の駅」整備の基本方向

<日進市の地域活性化に向けた課題>

- ・福祉サービスの充実
- ・都市近郊における「農」の展開
- ・市民自治活動・地域交流・大学連携
- ・にぎわい創出に向けた拠点づくり
- ・シティプロモーション・情報発信の充実
- ・地域環境の保全
- ・防災・減災対策

整備コンセプト：
市民が集い にぎわい 成長し 都市をデザインする「道の駅」



日進市「道の駅」は、従来の機能を基盤に、日進市の個性や特性、大学や市民自治活動等の地域資源を活かした、地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域の拠点としての整備を目指す

3. 導入機能・施設

整備コンセプト等を踏まえ、導入機能と施設を想定

<道の駅の機能と施設>



防災機能

- ① 防災施設
- ・暮らしの安全を支える防災拠点
 - ・救助救援場所
 - ・防災ヘリポート
 - ・防災倉庫
 - ・耐震性貯水槽 等

【市民活動イメージ】

- ・防災倉庫の前や広場で、警察・消防・自衛隊による防災イベントや活動PRイベントを実施する
- ・自治会や地域防災組織等、地域の組織と連携した防災訓練や防災イベントを実施する
- ・平常時の防災学習の場として、大学と協力して親子イベントを開催し、子ども向けの救急救命講習会を実施する
- ・消防・市内事業者と連携し、子どもたちや学生等の職業体験の場として活用する

その他の機能

- ① くるりんばすのバス停施設
- ② その他施設
- ・敷地内道路・植栽帯・自転車置場等外構、受水・電気室等の附帯施設を整備する
 - ・駐車場等において、市民まつり(産業まつり)やにっしん夢まつりを開催できるように検討する
 - ・災害用のマンホールトイレ等を整備する

休憩機能

- ① 駐車場施設
- ・すべての利用者にとって安全でわかりやすく、駐車しやすい駐車場
- ② トイレ施設
- ・ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ
- ③ 休憩施設
- ・ゆっくり休憩できる居心地の良さとし便性を兼ね備えたスペース

情報発信機能

- ① 情報発信施設
- ・「道の駅」の情報、道路情報、市内の観光情報、災害情報、NPO 活動等を紹介するインフォメーション

【市民活動イメージ】

- ・子ども連れでも利用しやすい「道の駅」のトイレを利用するついでに、子どもが遊べる場所や親子で参加できるイベント等の情報を入手する
- ・「道の駅」に立ち寄った利用者が、市内や友好自治体の農産物や加工品の情報を見て、農産物直売・物販施設で買い物をする
- ・「道の駅」と大学が連携し、学生によるHP やイベントポスター作成、SNS 等のスキルを活用した情報発信等を行う

地域連携機能

- ① 駐車場施設
- ・子ども連れ等の地域連携機能施設利用者に配慮したゆとりある駐車場
- ③ 飲食施設(レストラン、飲食コーナー)
- ・ゆっくりくつろげるおしゃれなカフェ・レストランや手軽な軽食コーナー

【市民活動イメージ】

- ・ゆっくりくつろげるおしゃれなレストランで、女性たちがランチやお茶を楽しみながら、友人と交流や親睦を深める
- ・新規就農者や地元農家等が飲食施設の契約農家となり、レストランに新鮮な野菜や食材を提供する

⑤ コミュニティ・交流施設

- ・様々な世代の市民がサークル活動・スポーツ活動・会合等、コミュニティ活動の場として交流する拠点施設を整備する
- 1) 子育て支援施設(屋内)
 - ・子育て世代が安心して気軽に利用できる交流の場
- 2) 子育て支援施設(屋外広場)
 - ・子どもたちが遊んだりイベントのできる屋外広場

【市民活動イメージ】

- ・週末には、子育て世帯がお出かけ先として気軽に立ち寄れる場を提供し、孤立化が懸念される子育て世帯のパパ友、ママ友作りをサポートする
- ・交流エリアに隣接して設置された軽食コーナーで、安心して子どもを見守りながら、親同士が交流する
- ・子どもたちがボール遊びやバドミントン等を行い、休日に家族や友人と一緒に楽しむ
- ・子ども食堂の一環として子どもたちが集まって「道の駅」で作った料理を広場で楽しむ

② トイレ施設

- ・ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ

④ 農産物直売・物販施設

- ・日進市ならではの品揃えのショップ

【市民活動イメージ】

- ・「道の駅」周辺の農業者、農業団体、出荷者の協力により、出品物を使ったおための調理法や伝統食等のレシピを提供する
- ・「道の駅」周辺の農業者、農業団体、出荷者による農産物や加工品、物販の開発商品を販売する

3) 公園

- ・親子で楽しめる身近な公園

4) 多目的施設

- ・様々な世代や団体が多様な活動を行う屋内施設
- 5) DMO 活動拠点(事務所)
 - ・観光の活動拠点

【市民活動イメージ】

- ・子どもを自由に安全に遊ばせながら、親はカフェ・レストランで見守りつつ、ゆったりとくつろぐ
- ・子育て支援活動のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- ・各NPO等団体のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- ・市民が農を学ぶ学習場、農学校の教室として利用する
- ・DMO 事務所の活動拠点として利用され、観光活動の場としても利用される(必要に応じて多目的施設を利用する)

【市民活動イメージ】

- ・車のない世帯や子どもたちが、くるりんばすに乗って気軽に「道の駅」を利用する
- ・日進市のまつりやイベントを開催し、市民が憩いの場として利用する
- ・利用者が SNS 等で情報発信したくなるような見栄えのする場所やおしゃれな飲食店等を戦略的に設置し、たくさんの人たちが SNS で「道の駅」や日進市のことを発信する

1. 第3回委員会の意見への対応

(6)概要版

4. 施設規模

道路交通量、類似事例等を基礎として算定

<規模算定結果>

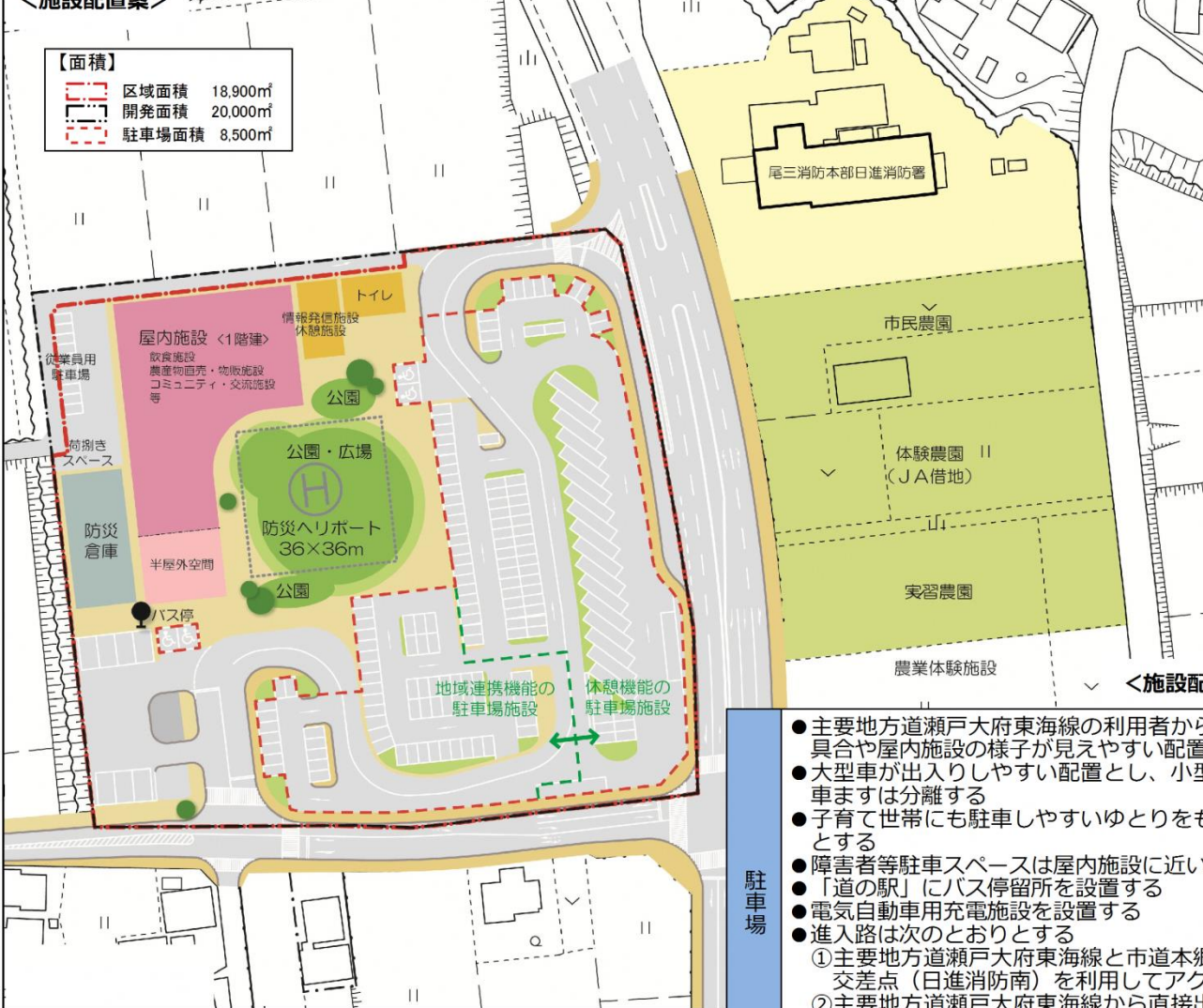
機能名	施設名 (基本構想イメージ)	番号	具体施設名	施設規模 (m ²)				備考
				敷地面積	屋外施設	屋内施設	重複面積 (大規模災害時等)	
休憩機能	駐車場施設	1	駐車場施設	約5,780	約5,780			小型車 80台 大型車 19台 身障者用 2台 計 101台
	トイレ施設	2	トイレ施設	約150		約150		
	休憩施設	3	休憩施設	約190		約190		別棟、24時間利用可能
情報発信機能	情報発信施設	1	情報発信施設					
地域連携機能	駐車場施設	1	駐車場施設	約2,620	約2,620			小型車 63台 身障者用 2台 計 65台
	トイレ施設	1	トイレ施設	約150		約150		
	飲食施設	1	レストラン	約530		約530		厨房、食品倉庫等を含む
		2	軽食コーナー					
	農産物直売・物販施設	1	農産物直売施設					
		2	物販施設	約570		約570		
		3	バックヤード					
	コミュニティ・交流施設	1	子育て支援施設 (屋内)	約300		約300		
		2	子育て支援施設 (屋外広場)	約1,500	約1,500			
		3	公園	約300	約300			
	4	多目的施設	約200		約200			
	5	DMO活動拠点 (事務所)	約100		約100			
	6	管理施設等	約100		約100		「道の駅」管理事務所等	
防災機能	防災施設	1	救助救援場所	*			約5,000	平常時は駐車場
		2	防災ヘリポート	*			約1,296	平常時は広場・公園
		3	防災倉庫		約500	約500		
		4	耐震性貯水槽				約100	地下施設
		5	その他施設		-	-		自家発電装置、太陽光発電施設等
その他の機能	その他施設	1	くるりんぱすのバス停 施設	約900	約900			後述の中間型B案による規模
		2	貯留施設				約1,312	地下貯留
		3	その他施設	約6,110	約6,110			外構、受水・電気室などの 附属施設等
計			小計(延面積)	-	約17,710	約2,290	約7,708	
			合計	約20,000	約17,710	約2,290	約7,708	

* 大規模災害時に他施設と兼ねて利用

5. 配置計画

施設規模約 20,000 m²を整形の敷地にレイアウト

<施設配置案>



<施設配置の基本方針>

- 主要地方道瀬戸大府東海線の利用者から、駐車場の混雑具合や屋内施設の様子が見えやすい配置とする
- 大型車が入りやすい配置とし、小型車と大型車の駐車スペースは分離する
- 子育て世帯にも駐車しやすいゆとりをもったレイアウトとする
- 障害者等駐車スペースは屋内施設に近い場所に設置する
- 「道の駅」にバス停留所を設置する
- 電気自動車用充電施設を設置する
- 進入路は次のとおりとする
 - ① 主要地方道瀬戸大府東海線と市道本郷・藤島線の信号交差点(日進消防南)を利用してアクセスさせる
 - ② 主要地方道瀬戸大府東海線から直接出入可能な出入口を設置する(左折による出入りのみ)
 - ③ 市道栄本郷線から市道本郷・藤島線を通り、南側から出入可能な出入口を設置する

6. 整備・管理運営手法

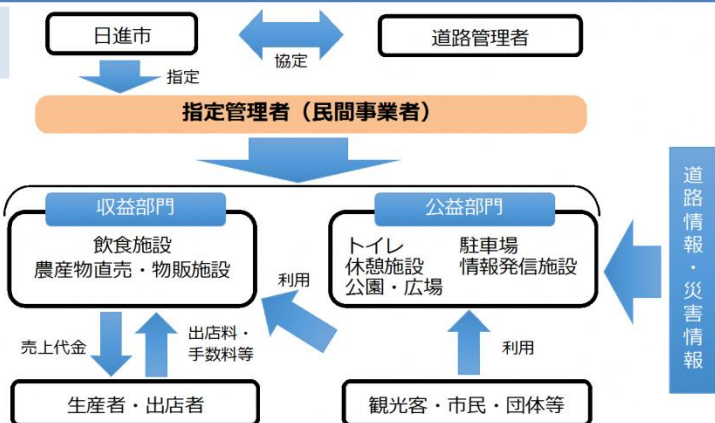
整備コンセプトの特徴を踏まえ、管理運営の基本方針、基本的な考え方・手法を検討

<管理運営の仕組み(案)>

「道の駅」は、公益性と収益性を併せ持つ施設であり、その施設の運営にあたっては民間ノウハウを最大限に活用し、収益性やサービス提供の質の確保を図っていくことが求められることから、**公設民営を前提に指定管理者制度による管理運営を検討する**

<整備・管理運営手法まとめ>

整備手法	管理運営	
	運営手法	運営者
一体型	公設	民間事業者
	指定管理	民間事業者



- 施設内動線を短くするため、分散配置することなくコンパクトに配置する
 - 屋内施設への日当たりや冬期間の北西風に対応するため、屋内施設は南向きまたは東向きに配置することを基本とする
 - 屋内施設は平屋建てもしくは2階建てとする
 - イベント時の花火の眺望に配慮する
- その他
- 農業体験施設は、主要地方道瀬戸大府東海線の東側にある既存施設を拡充する
 - 子どもの遊び場、イベント利用等のためにまとまった公園・広場を確保する
 - 防災拠点として、救助救援場所、防災ヘリポート、防災倉庫を設置する
 - 防災イベントを開催できるように防災倉庫に隣接してオープンスペースを設ける
 - イベント時の花火の眺望を極力確保する施設配置を検討する

2 .基本計画（素案）の主な変更箇所一覧

● 以下に基本計画（素案）の主な変更箇所一覧を示す

番号	章	ページ	主な変更箇所				備考
			第3回委員会提示内容	章	ページ	第4回委員会提示内容	
1	第2章	p9~17	・整備コンセプト及び基本方針、地域課題と「道の駅」における方向性の順に記載	第2章	p9~19	・項目を組み替え、地域課題と「道の駅」の整備コンセプト、重点的に取り組むべき地域課題の順に記載	
2	第2章	p18	・整備コンセプトの実現イメージは次の4項目を記載 子育て支援、防災・減災、農業振興、市民まつり等	第2章	p20~21	・整備コンセプトの実現イメージに下記を追加 コミュニティ形成、大学連携、体験学習、市民自治活動、再生エネルギー	
3	第4章	p47~50	・休憩機能のトイレ規模は、NEXCOの設計要領で算定	第4章	p51~54	・中部地方整備局の考え方を示した「一般道路の休憩施設計画の手引き（案）」により算定	
4	第5章	—	・土地形状の記載なし	第5章	p77	・土地形状の比較検討（縦型、中間型、横型の3案比較）を追加	
5	第5章	p77	・交通への配慮については、主要地方道瀬戸大府東海線の交通に配慮した施設配置の考え方のみ記載	第5章	p85~86	・交通への配慮として、下記を追加 「道の駅」内の交通に配慮した施設配置の考え方 施設利用の動線に配慮した施設配置の考え方	
6	第5章	p71、73、75、77~79	・中間型案B案の図を記載	第5章	p78、80、82、84~88	・中間型案B案の図について、施設配置の調整等、検討を進めた内容に一部修正（大型車の左回り等）	
7	—	—	・概算事業費、スケジュールの記載なし	第7章	p97	・概算事業費、今後のスケジュールを追加	
8	—	—	・数値目標や数値計画の記載なし	第7章	p98	・想定される年間利用者数を追加	
9	—	—	・実現に向けての記載なし	第8章	p99~100	・実現に向けてを追加	
10	—	—	・参考資料の記載なし	参考資料	p101~108	・参考資料を追加	

* 上記以外は、第3回委員会に提示した基本計画（素案）と第4回委員会に提示した基本計画（素案）を参照

3. 今後のスケジュール

■ 検討委員会の開催予定

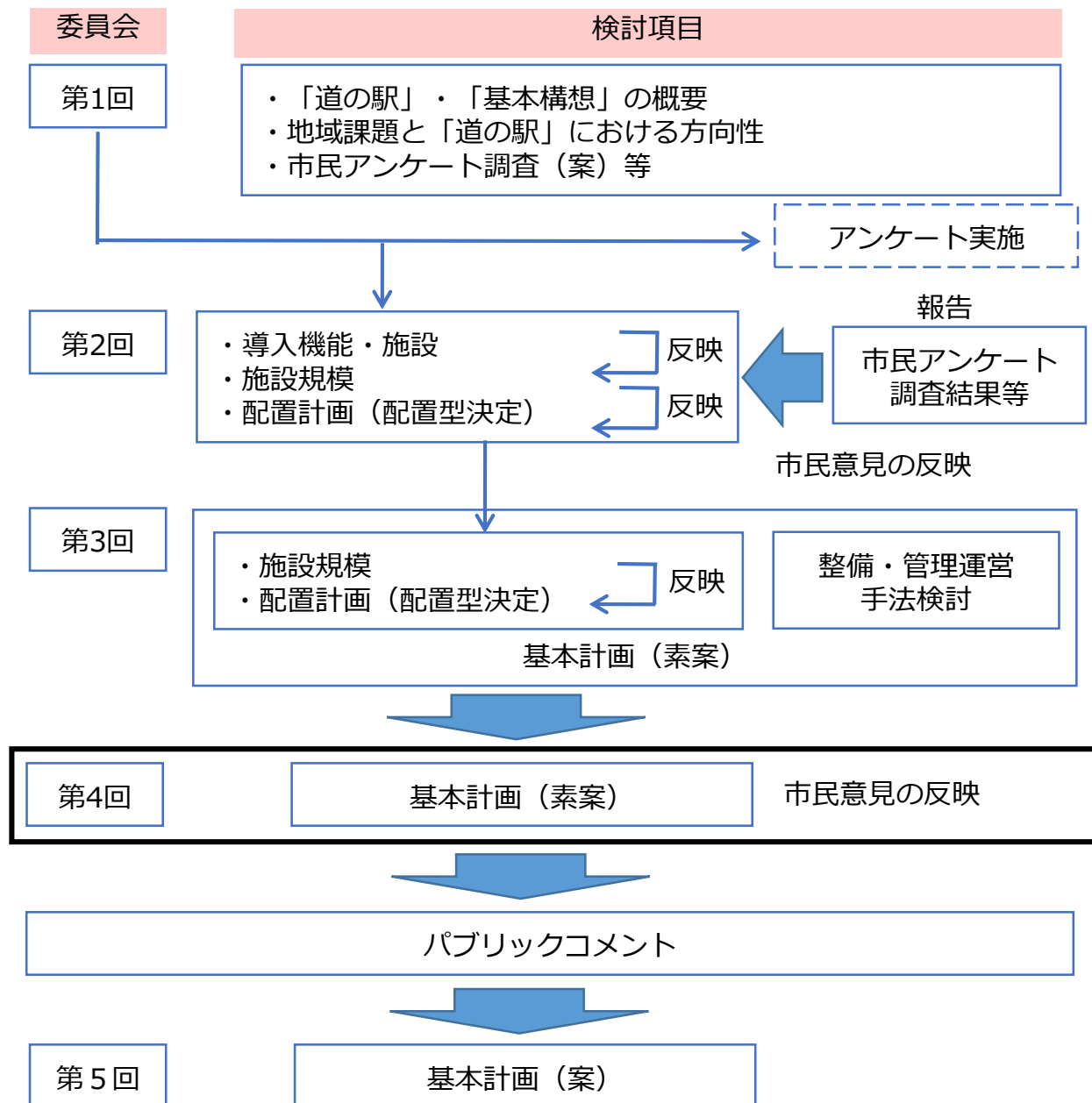
委員会	日付	検討項目 (想定)	備考
第1回	平成29年7月10日	<ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」の概要について 「基本構想」の概要について 市民アンケート調査 (案) について 今後のスケジュールについて 	
第2回	平成29年9月25日	<ul style="list-style-type: none"> 導入機能・施設の検討について 施設規模の検討について 配置計画の検討について 市民アンケート調査結果について 	
第3回	平成29年11月7日	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模の検討について 配置計画の検討について 整備・管理運営手法の検討について 基本計画 (素案) の検討について 	
第4回	平成29年12月18日	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画 (素案) の検討について 	
パブコメ	平成30年1月(予定)	パブリックコメントの実施	
第5回	平成30年2月(予定)	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの実施結果について 基本計画 (案) の策定について 	

【参考】 事業スケジュール

■ 平成33年度の開駅を目指し、基本設計・詳細設計等を進める

	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
全体	基本構想	→					開駅
	基本計画		→				
	基本設計			→			
	詳細設計				→		
	運営方式・事業者選定					→	
	工事						

■ 検討の流れ



■ 第4回委員会の検討内容

- 基本計画 (素案) の検討について
 - ・基本計画 (素案) を決定する予定